

ペットは私たちの生活に潤いと安らぎをもたらしてくれます。ペットの存在が、家庭内や隣人との会話を増やして人間関係を円滑にしたり、子どもたちに自分より弱いものに対するいたわりの心や、命を預かる責任の重さと命の大切さを教えたりするだけでなく、ペットに触れることで血圧が下がったり、表情や感情が豊かになり心が落ち着くなどの心身の健康への効果もいわれています。

今やペットは、一方的に愛情を注いだり姿やしぐさを楽しむための存在ではなく、ともに暮らし、時には心を通い合わせる人生のパートナーとなってきました。

しかし、その一方で、間違った飼い方をしたために、動物の存在が逆にストレスやトラブルの元となっ



たり、アレルギーなど様々な病気の原因になる事例も多発しています。

ペットを飼うことは、その一生を責任もって面倒を見ることです。ペットは私たち人間と同じように、命ある存在です。毎日食べ、排泄し、眠り、運動し、その世話は休みなく続きます。ペットは意志と感情を持ち、飼い主の思い通りになりません。ペットの起こしたトラブルは、全て飼い主の責任です。

ペットを飼うのに愛情はもちろん必要ですが、「かわいい」という気持ちだけでは生き物は飼えません。ファッションや流行、思い込みや擬人化ではなく、自分が最後まで責任をもって飼えるのか、飼い始める前によく考えましょう。

